安全上のご注意　よくお読みのうえ、必ずお守りください。

■誤飲による事故防止について

警告

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■電池について

1年ごとに新しい電池とお取り替えください。
古い電池は液もれをおこし、時計や周辺のものを傷めることがあります。

警告

- ●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより、人体や時計、周りを傷めることがあります。

注意

- ●＋(プラス)、－(マイナス) を逆に入れないでください。
- ●指定された電池を使用してください。
- ●使い切った電池は速やかに取り出してください。
- ●長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- ●電池を充電しないでください。
- ●電池交換時は、電池を時計の端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。

■取扱いについて

注意

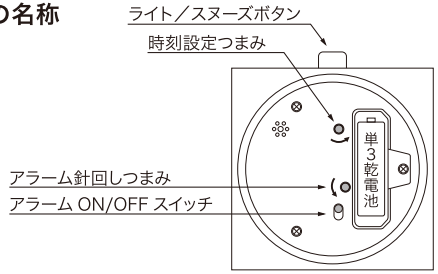
時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。
故障や破損の原因になります。

分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

取扱説明書

各部の名称



製品仕様

常温での精度：平均月差±60秒
可動温度範囲：－10℃～＋50℃
アラーム精度：±5分
機　　能　：電子音アラーム、スヌーズ、ライト
電 池 仕 様：単３形乾電池 1.5V (アルカリ or マンガン)
　　[size AA/1.5V/LR6 or R6P]
電 池 寿 命：約１年

※電池寿命はアラームやライトの使用頻度により縮まります。

※オキシライド乾電池（初期電圧の高い高性能電池）には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。

※充電式電池は電圧が低いので (1.2V)、弊社製品には使用しないでください。

※付属の電池は、工場出荷するときに入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

修理について

正しいご使用にもかかわらず、時計が止まったり、進み遅れが大幅になった場合は、お買い求めのお店へご相談ください。
（その際は、同梱されております保証書をご持参ください）

ご使用方法

① 電池を入れる

本体裏面の電池蓋を開けて、中の電池ホルダーの⊕プラス、⊖マイナスを確かめ、確実に電池を入れてください。

② 時刻を合わせる

「時刻設定つまみ」を矢印の方向にまわし、時針・分針を合わせます。

③ アラーム時刻をセットする

「アラーム針回しつまみ」を反時計回りにまわして、ご希望の時刻にアラームの針を合わせます。「アラームON／OFFスイッチ」が「ON」の状態になっていることを確認してください。

※針を逆回しにすると、アラームを設定した時刻に鳴らない場合がありますのでご注意ください。

④ ライト確認

「ライト／スヌーズボタン」を押すとライトが点灯します。
（指を離すと消えます）

⑤ アラームを一時的に止める（スヌーズ機能）

アラーム音が鳴っているとき、「ライト／スヌーズボタン」を押すと 一時的にアラーム音が止まりますが、約５分後に再度アラーム音が鳴り始めます。

⑥ アラームを完全に止める

「アラームON／OFFスイッチ」を「OFF」の状態にしてください。

※「アラーム ON ／ OFF スイッチ」を「ON」のままにしておくと午前と午後の２回アラームが鳴り、電池の消耗を早めますので、アラームを使用しないときは「OFF」にしてください。

アラーム時計をご使用頂く際のお願い！

本商品の本体裏側にあります［時計合わせつまみ］は時計針と連動しております。よって、この［時計合わせつまみ］に負担がかかる状態（例：商品が倒れて床に接触しているなど）にありますと時間遅れの原因になりますのでご注意ください！

また、本製品に衝撃を与えますと、時間針の脱落・電池外れ他、機械不良等の原因となり得ますので、合わせてご注意のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご使用場所

・商品は安定した場所、お子様の手の届かない場所でご使用ください。
・ガラスを使用している製品は、衝撃によって割れる可能性がありますので、取扱いには十分にご注意ください。
・次のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

注意

- ●温度が＋50℃（50 度）以上になる所。例えば、長時間直射日光にあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が−10℃（氷点下 10 度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起こることがあります。）
- ●浴室など、湿気の多い所。
- ●ほこりが多く発生する場所。（空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- ●テレビ・OA 機器・オーディオの側など強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- ●木枠の時計の場合、非常に乾燥した状態や多湿な状態が長くつづくと、木枠が痛むことがあります。
- ●プラスチック製の時計は、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- ●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後からぶきしてください。
- ●ケースなどの汚れ落としにベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、みがき粉、洗剤などは使用しないでください。